

第71回全琉小・中・高校 図画・作文・書道コンクール募集要項

【主催】沖縄タイムス社 【後援】沖縄県、沖縄県教育委員会、琉球放送、琉球朝日放送
【ねらい】・図画(絵画)＝児童生徒が感じたことや考えたこと、体験したことを伸び伸びと表現し創造性・感性を高める。
・散文・韻文・創作文＝児童生徒が考え、感じた事を文章で表すことを奨励し、知性の豊かな人間形成を目指す。
・書写・書道＝文字を正しく、美しく書く態度や技能を育て、創造的な自己表現力を高める。

作品応募受付

※作品提出や参加料の支払いに追加がないよう、一度にまとめてご応募下さい。
※窓口での受付は大変込み合いますので、郵送での受付を推奨しております。

【規定】・学校単位でまとめて応募すること。
・募集要項に違反した作品は審査対象外(落選)とする。
・作品はいずれも未発表の作品であること。ただし、学校内のコンクールは除く。

【期間・場所】

- 郵送受付 9月4日(月)～14日(木) ※9月14日必着
〒900-8678 那覇市久茂地2-2-2
沖縄タイムス社 事業局文化事業部「全琉小中高図画・作文・書道コンクール」係
- 出張受付 9月6日(水) 名護市港区公民館 午後1時30分～午後6時
9月8日(金) 沖縄市商工会議所 午後1時30分～午後6時
- 沖縄タイムス本社受付(3階タイムスホール)
9月11日(月)～14日(木) 午後1時30分～午後6時

【応募料・作品返却(発送)料】

※審査終了後、作品はすべて学校へ返却(発送)しますので、返却料は必ずお支払い下さい。
※受付期間内にお支払い下さい。作品受付け後の返金はできません。

応募料 200円×作品数 + 返却(発送)料 500円 ※学校ごと の 合計額

【支払い方法】 ①受付時に現金払い ②現金書留 ③銀行振り込み

振込先 琉球銀行本店営業部(店番号201)(普通)1288416
株式会社沖縄タイムス社 代表取締役 武富和彦

※振込名義は学校名 (●●市立等は省く)

※振込が確認できる用紙を提出して下さい(コピー可、作品と一緒に提出するかFAX、メールでも可)

【提出物】

- ①応募点数表 = 出品数の合計、支払額、学校担当者名などを記入して下さい。
- ②応募者名簿 = 部門や学年ごとの順に分けて記入。用紙は分けても可。
- ③作品 = 作品を損ねないよう部門や学年ごとに分けて提出。(作品裏にカードAを糊で貼り付ける)
- ④作品カード = 作品カードA、B両方記入。AとBは切り離さない。カードサイズは拡大縮小しない。
[図画][書道]作品裏の右上に貼る [作文]最終ページに白紙を一枚追加し右上に貼る ※Bは糊付け不要

【注】作品カードの情報(氏名、学年)が新聞、賞状に掲載されます！

誤字トラブル防止のため、④作品カードと②名簿が正しく書かれているか確認して下さい

※出品に関する用紙①～④は、[沖縄タイムスホームページ](http://www.okinawatimes.co.jp/)▶ <http://www.okinawatimes.co.jp/> からダウンロード可能です。

【出品時の注意】

- ・出品者は当コンクールに関わる広報・関連イベント等において、作品の写真・記事・映像などの新聞、テレビ、雑誌等の印刷物及びインターネットへ使用されることを承知し、掲載物と著作権を主催者に一任すること。
- ・氏名を公表できない、氏名の漢字について特記事項などがある場合は、④作品カードの[連絡事項]箇所に、
※名前公表NG ※海(海ではなく旧字の「海」)など明記すること。
- ・著作権を侵害するような作品(出典の明示なく引用、無許諾、類似作品)と認められた場合は落選とする。
- ・応募作品の不可抗力による紛失、破損について主催者は責任を負いません。
- ・天変地異、その他やむを得ない事由により、安全かつ円滑なコンクール実施が不可能となった場合には、当コンクールを中止、延期、内容を変更する場合があります。

【審査発表】

- 審査 「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」「佳作」までの入賞作品を選定 (9月)
- 発表 「優良賞」までを沖縄タイムス別刷紙面で発表 (10月下旬)
- 最優秀作品展 「最優秀賞」の作品はタイムスギャラリーにて展示予定 (11月中旬)
- 賞状 「佳作」までの入賞者には、作品返却時に賞状を送ります (11月下旬)

【注】 賞状の訂正受付は 2023年度内(2024年3月31日迄)

※期限を過ぎての再発行はいたしません

【作品返却】

- ・11月下旬頃より順次各学校に返却予定です。早めに返却希望の学校は事務局にご相談下さい。
- ・審査終了後、作品はすべて学校へ返却します。事務局で破棄はいたしません。
- ・入賞作品の中から各市町村等で展示されることがあります。展示会終了後に各主催団体から直接学校に返却されます。
- ・高校絵画の作品は託送での返却はできません。審査終了後に各学校に返却日時をご連絡しますので、指定日時に沖縄タイムス社にて直接お受け取り下さい。

【お問い合わせ】

沖縄タイムス社 読者局文化事業本部 (担当:柳、粟国、新垣)

電話 :098-860-3588(平日 10時~17時)

FAX :098-860-3493

メール:zuga-sakubun-syodou@okinawatimes.co.jp

< 小学校 >

■ 図画

- ① 応募点数は1人1作品まで。学年、学校での枚数制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ② クレヨン画、水彩画、アクリル画、版画、素描、平面デザインなどとし、原則として画用紙に描くものとする。
- ③ 大きさは四つ切り大(382mm×542mm)以内とし、それより小さい作品は四つ切りの台紙に貼って出品する。
- ④ 作品カードは、用紙の裏面右上に貼り付け、作品よりはみ出ないようにする。(カードA部分を糊付け)
- ⑤ 児童の発達段階をふまえた個性豊かな作品とし、参考作品等の模写、指導過多の作品にならないこと。

■ 作文

< 出品制限について > ※散文、韻文 = 共通事項

- ・ 1校につき、各学年から、散文4作品、韻文4作品までとする。
- ・ 散文と韻文(詩・短歌・俳句)の両部門応募可。
- ・ 題名の次の行には「学年、氏名」のみを記入。学校名は記入しないこと。(短歌、俳句は題名無し。一行目に「名前、学年」を記入する。)
- ・ 原稿は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづり、ホッチキスで止めること。
- ・ 作品カードは最終ページの後ろに白紙を一枚追加し、その右上に貼る。(カードA部分を糊付け)

I. 散文部門

- ① 応募点数は1人1作品まで。
- ② 作品は児童の直筆を原則とする。但し、児童が直筆で作成できない環境にある場合に限り代筆・パソコンによる作成を認める。この場合、作品カードに理由を明記すること。
- ③ 読書感想文は対象外とする。
- ④ 文字・枚数制限は以下の通り。学校名入りの原稿用紙は使用不可。

小学校1年生	400～600字以内	196字詰めか195字詰め原稿用紙の約2枚～3枚 B4判400字詰め原稿用紙の約1枚～1枚半
小学校2年生	680～800字以内	196字詰めか195字詰め原稿用紙約3枚半～4枚 B4判400字詰め原稿用紙の約1枚半～2枚
小学校3・4年生	1000字～1200字以内	B4判400字詰め原稿用紙の約2枚半～3枚
小学校5・6年生	1400字～1600字以内	B4判400字詰め原稿用紙の約3枚半～4枚

II. 韻文(詩・短歌・俳句)部門

- ① 韻文部門は1人で最大3作品(詩、短歌、俳句それぞれ)に応募できる。
- ② 詩1編(枚数制限なし、題名を記入)、短歌3首、俳句3句でそれぞれ1作品とする。3首、3句に満たない作品は、審査対象外とする。
- ③ 作成方法については散文部門と同様とする。

■ 書道【書写】

- ① 応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて応募すること。
- ② 作品の表左側には、学年と氏名だけを書くこと。学校名や階級は記入しない、学校印も押さないこと。
- ③ 用紙のサイズは720mm×200mm。規定用紙外のサイズは審査対象外とする。
- ④ 作品は本表装又は仮巻きにせず作品のままとし、作品カードを裏面右上に貼る。(カードA部分を糊付け)
- ⑤ 課題は自由とするが、学校書写の教科書の課題に準じ、学年相応の作品とする。
(楷書のみ)課題と落款(名前)が審査の対象となる。※誤字がないようにする。
- ⑥ 応募作品には“水洗いで落ちる墨汁(練習用)”や筆ペンは使用しないこと。

< 中学校 >

■ 絵画

- ① 応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ② クレヨン画、水彩画、アクリル画、版画、素描、平面デザインなどとし、原則として画用紙に描くものとする。
- ③ 大きさは四つ切り大(382mm×542mm)以内。それより小さい作品は四つ切りの台紙に貼って出品する
- ④ 作品カードは、用紙の裏面右上に貼り付け、作品よりはみ出ないようにする。(カードA部分を糊付け)
- ⑤ 生徒の発達段階をふまえた個性豊かな作品であること。

■ 作文

< 出品制限と提出方法について > ※散文、韻文 = 共通事項

- ・ 1校につき、各学年から、散文5作品・韻文5作品まで とする。
- ・ 散文と韻文(詩・短歌・俳句)の両部門に応募可。
- ・ 作品は生徒の直筆を原則とするがパソコン使用も可能とする。
- ・ 題名の次の行には 「学年、氏名」のみを記入。学校名は記入しないこと。(短歌、俳句は題名無し。一行目に「名前、学年」を記入する。)
- ・ 原稿は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづり、ホッチキスで止めること。
- ・ 作品カードは最終ページの後ろに白紙を一枚追加し、その右上に貼る。(カードA部分を糊付け)

I. 散文部門

- ① 応募点数は1人1作品まで。
- ② 400字詰め(B4判)原稿用紙を使用、枚数は約5~7枚(2000字以上2800字以内)。
学校名入りの原稿用紙は使用不可。

II. 韻文(詩・短歌・俳句)部門

- ① 韻文部門は 1人で最大3作品(詩、短歌、俳句それぞれ)に応募できる。
- ② 詩1編(枚数制限なし、題名を記入)、短歌3首、俳句3句でそれぞれ1作品とする。3首、3句に満たない作品は、審査対象外とする。
- ③ 作成方法については上記、散文部門と同様。

■ 書道【書写】

- ① 応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて応募すること。
- ② 作品の表左側には 学年と氏名だけを書くこと。学校名や階級は記入せず、学校印も押さないこと。
- ③ 用紙サイズは720mm×200mm。半切画仙紙(1350mm×350mm)も可。規定外のサイズは審査対象外とする。
- ④ 作品は本表装や仮巻きにせず作品のまま提出し、作品カードを裏面右上に貼る。(カードA部分を糊付け)
- ⑤ 色画仙紙、料紙は使用しないこと。
- ⑥ 課題は自由とするが、学校書写の教科書の課題に準じ、学年相応の作品とする。課題と落款(名前)が審査の対象となる。
- ⑦ 作成方法:書写とする(楷書、行書のみ)。草書、旧字体、古典の仮名・漢字、臨書作品は審査対象外とする。
- ⑧ インクがにじみ出て他の作品を汚すこともあるので、応募作品には“水洗いで落ちる墨汁(練習用)”や筆ペンは使用しないこと。

< 高等学校 >

■ 絵画・デザイン (平面作品のみ)

- ①応募点数は1人1作品まで。
- ②表現技法や材料などは自由。作品は未発表のものに限る。
- ③作品を額装かパネル張り仕様とすること。
- ④絵画:大きさ50号(116cm×116cm)以内、デザイン:大きさB1(103.0 cm×72.8 cm)以内
- ⑤作品カードは裏面右上に貼り、作品よりはみ出ないようにする。(カードA部分を糊付け)
- ⑥著作権を侵害しないように各自で権利処理を行なった後に応募すること。類似作品や著作権を侵害するような作品と認められた場合は落選とする。
- ⑦高校絵画の作品は託送での返却はできません。審査終了後に各学校に返却日時をご連絡しますので、指定日時に沖縄タイムス社にて直接お受け取り下さい。

■ 作文

< 出品制限と提出方法について > ※散文、韻文、創作文 = 共通事項

- ・1校につき各学年から、散文5作品、創作文5作品、韻文5作品までとする。
- ・散文、韻文、創作文の全ての部門に応募可能。
- ・題名の次の行には「学年、氏名」のみを記入、学校名は記入しないこと。(短歌・俳句は題名無し。一行目に「学年、氏名」を記入する。)
- ・原稿用紙は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづること。
- ・作品カードは最後のページの後ろに白紙を一枚追加し、その右上に貼ること。(カードA部分を糊付け)

I. 散文部門

- ①応募点数は1人1作品まで。
- ②作品は原則、パソコン(スマートフォンなど電子機器での入力も可)を使い、原稿用紙の体裁で提出する。
但し、生徒がパソコンで作成できない環境にある場合は直筆による作成を認める。
- ③枚数:(B4判)原稿用紙の体裁を使用し、枚数は8~10枚とする。

II. 韻文(詩・短歌・俳句)部門

- ①詩1編(枚数制限なし、題名を記入)、短歌3首、俳句3句でそれぞれ1作品とする。
- ②韻文部門は1人で3作品(詩、短歌、俳句それぞれに)を応募できる。
- ③原則、生徒の直筆とする。但し、直筆で作成できない環境にある場合に限り代筆・パソコンによる作成を認める。この場合、作品カードの備考欄に理由を明記すること。
- ④(B4判)原稿用紙の体裁で提出する。

III. 創作文部門

- ①応募点数は1人1作品まで。
- ②作品は原則、パソコン(スマートフォンなど電子機器での入力も可)を使い、原稿用紙の体裁で提出する。
提出は、用紙とデータの両方(但し、生徒がパソコンで作成できない環境にある場合は直筆による作成を認める)
- ③枚数:(B4判)原稿用紙16枚~20枚(6,400~8,000字)とする。

■書道

- ①応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて応募すること。
 - ②作品に学校名は記入しないこと。学校印は押さないこと。
 - ③課題は自由とする。課題と落款が審査の対象となる。
 - ④用紙のサイズ:画仙紙(半切か全紙)。縦、横自由。
 - ⑤作品はいずれも本表装又は仮巻きにせず書き下ろし(まくり)のままとし、作品カードを裏面右上に貼る。
(カードA部分を糊付け)
 - ⑥作成方法:書道とする(毛筆)。画仙紙(半切か全紙)に揮毫すること。細字用の紙に揮毫した作品を切り、貼り付けて提出することはできない。必ず1枚の用紙に揮毫すること。
 - ⑦作品には必ず落款を入れるか、落款印を押すこと(ただし、落款は名のみか落款印のみでも可)。
 - ⑧作品カードの題名欄には、臨書の場合には古典名を、創作の場合は釈文を記入すること。釈文のコピーを作品カードに添付して応募も可能。
- ※著作物使用に該当する場合は、著作権を侵害しないように各自で権利処理を行なった後に応募すること。
- ⑨『篆刻作品』の出品も可とする。その場合、指導者の補刀が入っていないもので、画仙紙に直接押されたものであること。用紙・サイズ等は上記①から⑧と同様とする。

< 特別支援学校 >

※特別支援部門で応募希望の生徒のみ作品を提出して下さい。

■ 絵画部門

- ①**応募点数は1人1作品まで**。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ②クレヨン画、水彩画、アクリル画、版画、素描、平面デザインなどとし原則として画用紙に描くものとする。
- ③**大きさは四つ切り大(382mm×542mm)以内**とし、それより小さい作品は四つ切りの台紙に貼って出品する。
- ④複数の生徒による作品の制作(合作)も認める。合作作品のサイズは問わない。
- ⑤作品カードは、用紙の裏面右上に貼り付け、作品よりはみ出ないようにする。(カードA部分を糊付け)
- ⑥児童生徒の発達段階をふまえた個性豊かな作品であること。

■ 作文部門

< 出品制限について >

・学年、学校での制限は設けない。・散文・韻文(詩・短歌・俳句)の両方に応募可。

I. 散文

- ①**応募点数は1人1作品まで**。
- ②作品は児童生徒の直筆を原則とする。但し、生徒が直筆で作成できないと判断した場合は、代筆・パソコンによる作成を認める。その場合、生徒の直筆作品を添付する。
- ③題名の次の行には「学年、氏名」のみを記入。学校名は記入しないこと。
- ④原稿は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづること。作品カードは、最終ページの後ろに白紙を一枚追加し、その右上に貼ること。(カードA部分を糊付け)
- ⑤文字・枚数制限は以下の通り。学校名入りの原稿用紙は使用不可。

小学校1年生～2年生	196字詰め(14字×14字)、もしくは195字詰め(13字×15字)の原稿用紙2枚～4枚。
小学校3年生～高校生	原稿用紙は400字詰め、196字詰めどちらかを使用し枚数は3枚～8枚

II. 韻文(詩・短歌・俳句・川柳)

- ①作成方法については散文部門と同様。
- ②韻文部門は、**1人で最大3作品に応募できる。**
詩 1 編(枚数制限なし、題名を記入)、短歌 3 首、俳句・川柳 3 句。※短歌は 3 首、俳句・川柳は 3 句に満たない作品は、審査対象外とする。

III. 創作文

- ①作成方法については散文部門と同じとする。
- ②高等学校(高等特別支援学校、高等支援学校、高等部)のみの応募とする。

■ 書道部門

- ①**応募点数は1人1作品まで**。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ②作品の表左側には 学年と氏名だけを書くこと。学校名や階級は記入せず、学校印も押さないこと。
- ③課題は自由とする。
- ④用紙のサイズは問わない。
- ⑤作成方法 書写とする(楷書、行書とする)。
- ⑥作品は本表装又は仮巻きにせず作品のままとし、作品カードを裏面右上に貼る。(カードA部分を糊付け)

＜提出物の確認＞

チェック	提出物	
①応募点数表	出品数の合計、支払額、学校担当者名などを記入して下さい	
②応募者名簿	部門や学年ごとの順に分けて記入して下さい。用紙は分けても可。	
③作品 + ④作品カード	<p style="color: red; text-decoration: underline;">【注】作品カードの氏名が新聞、賞状に載るので正しく記入して下さい</p> 部門、学年ごとに分けて提出、カードを作品の右上に貼る。 作品カードA、B両方記入。AとBは切り離さない。 カードサイズは拡大縮小しない。 氏名を公表できない、氏名の漢字について等の特記事項は、作品カード[連絡事項]箇所に ※名前公表NG ※海(海ではなく旧字の「海」) など明記して下さい。	
④支払い 現金、書留、振込	(応募料)200円×作品数 + (返却送料)500円 = 合計金額	

＜作品カード 記入例＞

作品カード＜A＞を作品裏の右上に貼り付けます

作品カード <A>			
<p style="color: red; text-decoration: underline;">※名前は新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい</p> ①作品カードA、B両方記入。AとBは切り離さない ②カードAを貼り付け(図画: 作品裏の右上、書道: 作品裏の右上、作文: 最終ページに白紙を一枚追加しその右上) いずれも作品からはみ出さないように。※拡大縮小しない ③書道(臨書)は古典名を、創作は釈文を題名に記入			
学校コード	C-1948	学年	2年
		特別支援	
学校名	(特別支援の生徒は○印記入) タイムス小学校		
名前	沖縄 ワラビー <small>ふりがな不要</small>		
	※新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい		
※連絡事項	※事務局への特記があればこちらへ		
題名	夏休み		
部門	①図画・絵画 ②散文 ③韻文 ④創作文(高校のみ) ⑤書道 <small>※番号記入→</small>	番号	②
事務局記入欄			
最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳作

カードの名前が新聞・賞状に載るので、きれいに正しく書いてね!



—————(作品カードA・Bは切り取らない)—————

作品カードの＜B＞は切り離さない。カードサイズは拡大縮小しないこと。

<作品提出時の注意点>

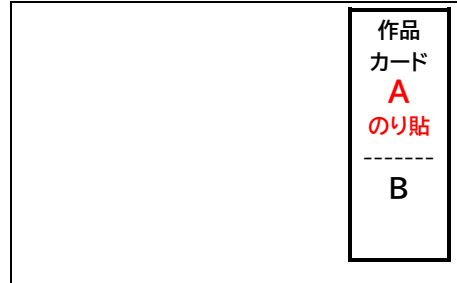
- ①作品カード<A>部分をのりで貼り付ける ②カードは作品からはみ出さないように
 ③<A>とは切り離さない ④作文と書道は作品表に学年と名前を書く、学校名は書かない

【図 画】



(表) ※用紙サイズ注意 ※高校は額装かパネル張り仕様

作品裏面の右上に貼る ↓

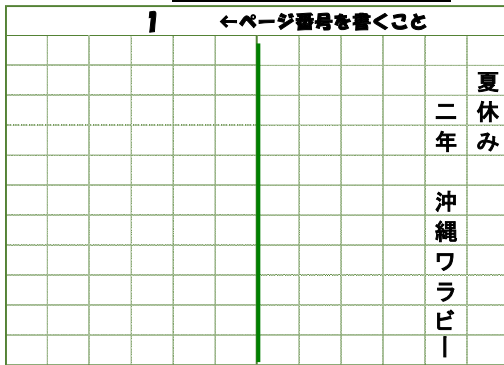


(裏)

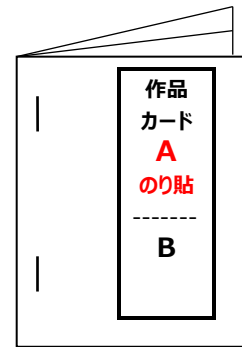
【作 文】

最終ページに用紙1枚追加し裏面の右上に作品カードを貼る。

原稿用紙は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづりホッチキスで止めること。

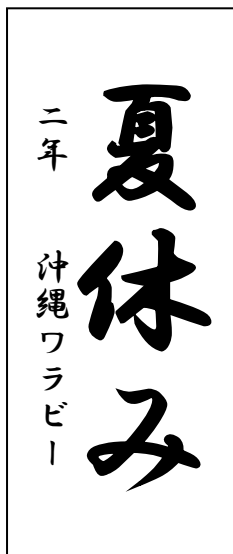


(表) ※B4 原稿用紙



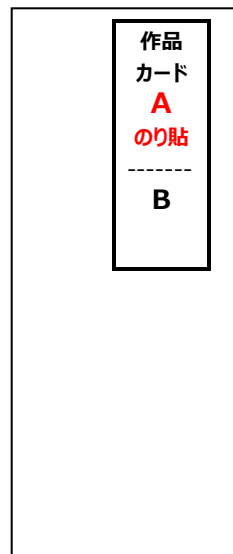
(裏)

【書 道】



(表) ※用紙サイズ注意

作品裏面の右上に貼る ↓



(裏)